

(平成22年7月分)

部 門	市況の概要
野 菜	7月期の野菜の入荷状況は、中旬までの長雨や中旬以降の高温等により、西洋にんじん、ほうれんそう、レタス、なすが入荷減となる一方、中旬以降の好天により、きゅうり、とまと、ピーマンは、入荷増となった。また、ばれいしょやキャベツでは、出荷の遅れていた産地からの入荷が本月に集中したことにより入荷増となった。野菜全体の入荷量は、前年並みとなった。 価格は、量販店等の堅調な需要により多くの品目で単価高となり、前年同期を13%上回った。 品目別には、長大根、キャベツ、きゅうり、とまと、ピーマンが入荷増の単価高、はくさいが入荷増の単価前年並み、ばれいしょが入荷増の単価安、玉葱が入荷前年並みの単価前年並み、西洋にんじん、ほうれんそう、レタス、なすが入荷減の単価高となった。 根菜類は、入荷が前年並みで、価格は12%高となった。 葉菜類は、入荷が前年並みで、価格は16%高となった。 果菜類は、入荷が前年並みで、価格は17%高となった。 土物類は、入荷が前年並みで、価格は前年並みとなった。
果 実	7月期の果実の入荷状況は、生育期の天候不順により多くの品目で入荷減となったものの、アールスメロンや大玉スイカで、出荷の遅れていた産地からの入荷が本月に集中したため、果実全体の入荷量は、前年同期を7%上回った。 価格は、入荷増ながら、前年安値であったことから前年並みとなった。 品目別には、大玉スイカが入荷増の単価高、アールスメロンが入荷増の単価安、ふじりんごが、入荷前年並みの単価高、桃、デラウェアが入荷減の単価高、アールスメロンが入荷減の単価前年並み、ハウスみかんが入荷減の単価安となった。 柑橘類は、入荷が15%減少し、価格は3%安となった。 りんご類は、入荷が前年並みで、価格は6%高となった。 桃は、入荷が6%減少し、価格は9%高となった。 ぶどう類は、入荷が35%減少し、価格は22%高となった。 メロン類は、入荷が16%増加し、価格は6%安となった。 スイカ類は、入荷が17%増加し、価格は14%高となった。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長大根 西洋人参 【葉菜類】 はくさい キャベツ ほうれんそう レタス	北海道を中心に、青森県、岡山県、千葉県、広島県からの入荷。 主力の北海道、青森県産で、生育順調で作柄が良く全体の入荷量は、前年同期を9%上回った。 価格は、入荷増ながら、量販店等の堅調な需要により前年同期を8%上回った。 北海道を中心に、長崎県、青森県、和歌山県、兵庫県からの入荷。主力の北海道、青森県産で、生育期の長雨とそれに続く急激な高温の影響により腐敗が多く発生し、全体の入荷量は、前年同期を7%下回った。 価格は、入荷減により、前年同期を35%上回った。 長野県を中心に、群馬県、福岡県、北海道、茨城県からの入荷。各産地ともに、生育順調で作柄が良く入荷量は、前年同期を25%上回った。 価格は、入荷増ながら、加工用等の堅調な需要により前年同期並みであった。 群馬県を中心に、長野県、茨城県、滋賀県、北海道からの入荷。主力の群馬県産で、天候不順による生育の遅れから入荷減となる一方、茨城県産の入荷が本月にずれ込んだため、全体の入荷量は前年同期を3%上回った。 価格は、入荷増ながら、量販店等の堅調な需要により前年同期を37%上回った。 岐阜県を中心に、北海道、茨城県、京都府、長野県からの入荷。各産地ともに、中旬以降の気温の上昇により高温障害が発生し、入荷量は前年同期を18%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を26%上回った。 長野県を中心に、北海道、兵庫県、群馬県からの入荷。主力の長野県産、北海道産で、中旬までの長雨の影響から作柄が悪く、入荷量は前年同期を17%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を17%上回った。

【果菜類】	
きゅうり	福島県を中心に、京都府、愛媛県、滋賀県からの入荷。 各産地とも生育期の低温、長雨の影響から生育が遅れていたが、中旬以降の好天により順調な入荷となり、月全体の入荷量は、前年同期を10%上回った。 価格は、入荷増ながら量販店等の堅調な需要により3%上回った。
なす	京都府を中心に、徳島県、滋賀県、岐阜県、群馬県からの入荷。 各産地とも生育期の低温、長雨の影響により作柄が悪く、入荷量は、前年同期を9%下回った。 価格は、入荷減及び量販店等の堅調な需要により前年同期を37%上回った。
トマト	北海道を中心に、岐阜県、京都府、三重県、奈良県からの入荷。 各産地とも生育期の低温、長雨の影響から生育が遅れていたが中旬以降の好天により順調な入荷となり、月全体の入荷量は、前年同期を4%上回った。 価格は、入荷増ながら量販店等の堅調な需要により4%上回った。
ピーマン	大分県を中心に、茨城県、兵庫県、宮崎県からの入荷。 各産地とも生育期の低温、長雨の影響から生育が遅れていたが中旬以降の好天により順調な入荷となり、月全体の入荷量は、前年同期を3%上回った。 価格は、入荷増ながら量販店等の堅調な需要により39%上回った。
【土物類】	
ばれいしょ (メーク含む)	長崎県を中心に、茨城県、北海道、千葉県、青森県からの入荷。 生育の遅れていた主力の長崎県産の入荷が本月にずれ込み全体の入荷量は、前年同期を16%上回った。 価格は、入荷増により前年同期を19%下回る結果となった。
たまねぎ	兵庫県を中心に、佐賀県、長崎県、京都府からの入荷。 京都府産で、多雨の影響から収穫作業が遅れ入荷減となったが、主力の兵庫県産の入荷が順調であったことから全体の入荷量は、前年同期並みであった。 価格は、量販店等の堅調な需要により、単価高であった前年並みとなった。
【その他野菜】	
生しいたけ	徳島県を中心に、広島県、和歌山県、岡山県からの入荷。 各産地ともに作柄が良く、入荷量は、前年同期を8%上回った。 価格は、単価安であった前年同期を3%上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
ハウスみかん	佐賀県を中心に、長崎県、和歌山県、宮崎県、愛媛県からの入荷。各産地とも中旬までの長雨と日照不足により作柄が悪く、入荷量は、前年同期を13%下回った。 価格は、入荷減ながら品質が悪く、前年同期を6%下回った。
ふじ （サン含む）	青森県からの入荷。 貯蔵品の品質低下から前進出荷を行ってきた結果、産地在庫が減少し、入荷量は、入荷の少なかった前年並みとなった。 価格は、前年同期を3%上回った。
桃	山梨県を中心に、和歌山県、長野県からの入荷。 和歌山県産で、開花時期の遅霜、低温による着果不良の影響により入荷減となり、全体の入荷量は、前年同期を5%下回った。 価格は、入荷減により、前年同期を9%上回った。
デラウェア	山形県、大阪府を中心に、京都府、奈良県、山梨県からの入荷。 例年、本月の入荷量の最も多い山梨県産が、天候不順による生育の遅れから大幅な入荷減となった。全体の入荷量は、前年同期を38%下回った。 価格は、入荷減により、前年同期を33%上回った。
アールスメロン	高知県、静岡県、京都府を中心に、愛知県、茨城県からの入荷。 各産地とも、生育期の低温、日照不足の影響から作柄が悪く、入荷量は、前年同期を11%下回った。 価格は、入荷減ながら需要の低迷により、前年同期並みであった。
アンデス	山形県を中心に、茨城県、滋賀県からの入荷。 生育の遅れていた山形県産、茨城県産の入荷が本月に集中した。全体の入荷量は、前年同期を45%上回った。 価格は、入荷増により前年同期を5%下回った。
大玉スイカ	鳥取県、石川県を中心に、山形県、長野県、愛知県からの入荷。 天候不順により生育の遅れていた鳥取県産、山形県産、長野県産の入荷が本月に集中したため、入荷量は、前年同期を19%上回った。 価格は、入荷増ながら、単価安であった前年同期を14%上回った。